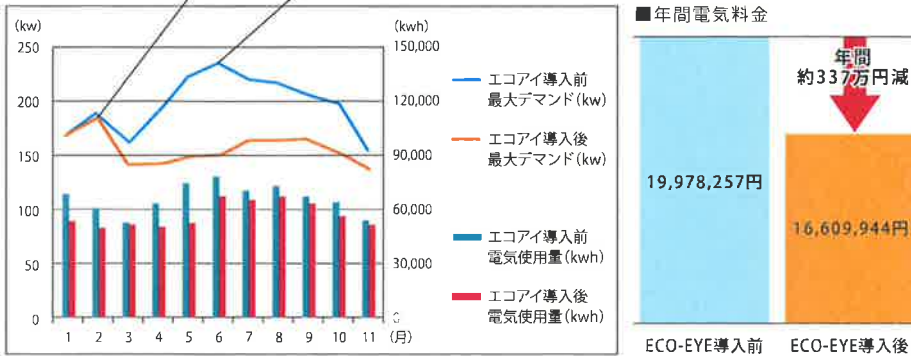


インバーターコントロールローラー「ECO-EYE」

店内の快適さを損わず
エアコンの電気代を大幅削減！

一般に店舗において最も電気を使うのがエアコン。省エネが叫ばれる昨今、いかに効率よく節電するかが大きな課題となっている。そんな中、快適さを保ったまま大幅な電気代削減ができる新しい切り口のインバーターコントロールローラーが注目されている。

千葉県 N店様
平成23年12月導入実績
最大値 174 kW
最大値 236 kW
遊戯台数480台の店舗



株式会社HR 中農 電二 代表取締役

節 電方法で最も知られているのが、デマンドコントロールだ。ご存知のように電気の基本料金というのは、1年間で一番電気を使う瞬間最大電力(デマンド値)を基準に決められるが、そのデマンド値を下げて基本料金を下げ、同時に月々の電気代も下げるとというのがデマンドコントロールである。

これには従来から専用の装置があり、設定したデマンド値を超えそうになると警報で知らせ、室外機を1台ずつ順番に自動的に止める方法と、店員が手動でON/OFFを行なう方法がある。

しかし、この方法では室外機が止まっているエアコンは送風状態になり、お客様は不快感を感じてしまう。また室外機を頻繁にON/OFFすることで機器の故障の原因になる可能性もある。さらに店員が手動で行なう場合は、そのたびに手間をとられて、その分お客様へのサービスへの影響も出かねない。

そこで、これらの問題をすべてクリアし、しかも従来よりもさらに省エネ率を高めたのが『ECO-EYE』である。

「冷媒が走るスピードを遅くしてエコ運転させる方法です。車でも120キロのスピードで走るよりも60キロで走った方が燃費が良くなるのと同じ原理で、フル運転を100%とすれば70%以上で運転しないように自動制御でインバーターの周波数を下げているのです。電気代は30%抑えられますし、冷風も常に出ているので快適さはさほど変わりません。」(中農社長)

従来のデマンドコントロールの省エネ率が10〜15%というから、その

倍以上の省エネができることになる。店舗数の多い大手ホールともなると、かなりの電気代削減ができる。

「実際、ある大手ホールに導入したのですが、480台の店舗で年間337万円の電気代削減に成功しました。現在400店舗以上に導入実績があります。」(中農社長)

店外には何台もの室外機が取付けられているが、『ECO-EYE』1台で制御することができ、導入費用は1〜2年の電力削減料金で回収できるといっても大きなポイントだ。しかも最初の1年は無料保守点検してくれる。

『ECO-EYE』は、インバーターエアコンならほぼどのメーカーでも取付け可能である。営業中でも工事ができ、2日間ほどで完了する。(ただし工事完了後、つなぎ込みにエアコンを5分だけ止める必要がある)

『ECO-EYE』は、現在、経済産業省の「生産性向上設備投資促進税制」の対象となっているので、導入の場合税金が優遇される。これは従来のデマンドコントロールでは受けられないので、今が導入のチャンスといえる。

快適性と経済性を両立させた『ECO-EYE』。現在全国の大型店舗からの引き合いが増えているという。